

平成23年度 リフレッシュ理科教室 (第2回 岡山会場)

<特別講演>

「太陽光で地球の未来を救え -太陽光発電の課題と将来展望-」

若尾真治

(早稲田大学 理工学術院 教授)

講演要旨

近年、低炭素社会の構築に向けた取り組みが各所で行われており、その一つとして、太陽光発電の普及促進に期待が高まっています。気象の影響を受け時間的に変動する太陽エネルギーを効果的に活用し、様々な挙動を示すエネルギー需要を満たすためには、高性能な太陽電池以外にも電力貯蔵装置などの様々な要素を組み合わせたシステムを構築し、その全体を視野に入れた検討が必要となります。

本講演では、いくつかの実証プロジェクトも紹介しながら、太陽光発電の大量導入時の課題やその対策技術、エネルギーインフラとしての役割をより担うために求められるシステム設計の視点、今後の展望などについて解説します。



集光型太陽電池

日時：平成23年11月27日（日）

受付開始：9:30～

講演時間：10:00～11:00

会場：岡山理科大学 15号館4F会議室

参加費：無料、当日受付可

連絡先：米田 稔（岡山理科大学理学部応用物理学科）

Email：yoneta@dap.ous.ac.jp TEL：086-256-9402

企画・運営 平成23年度応用物理学会「リフレッシュ理科教室」（第2回岡山会場）実行委員会

主催：応用物理学会中国四国支部、共催：岡山理科大学科学ボランティアセンター

後援：岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、倉敷市教育委員会、津山市教育委員会

@リフレッシュ理科教室 第2回岡山会場の趣旨

本年度から新学習指導要領の全面実施にて多くの新しい学習内容が加わりました。特に、理科教育では、児童生徒が自然観察・科学的体験を通じて、「地球」「生命」「粒子」「エネルギー」などの基本的な概念の育成し、科学的な思考力や表現力の育成を図り、科学と実社会との関連から自然との共生の大切さを理解する力の養成が取上げられています。これまで、応用物理学会では未来社会を担う人材育成に寄与するために、「リフレッシュ理科教室」なる科学啓蒙活動を通じて理科教育支援活動を行って参りました。本講座では、新教育課程を念頭に置き、児童生徒の「気づく力、観察する力、楽しむ力」の養成を意識して、授業で役立つ科学談話や身近な素材を活用した補助理科教材の製作を行います。特に、小学校における理科教育への話題提供に重きをおいて、リフレッシュ理科教室（第2回 岡山会場）を開催いたします。